様式第２号

事業計画書

１　管理運営についての基本方針等

(1) 施設の管理運営についての基本方針を提示してください。

虎姫時遊館は、地域固有の生活に根差した歴史、文化の情報を広く発信し、訪問者と地域住民相互の交流を促進する事で地域振興を図ることを目的に設置された施設です。

そのことに鑑み、過去を見つめ、未来につなぐ創造志向で施設管理運営を（株）まちづくり虎姫が中核となって推進します。

基本方針

歴史文化の情報発信、住民相互交流、地域振興、の３本柱

① 条例、規則等法令遵守で快適な施設環境の提供と最大活用を図ります。

② 公明、公正、公平の３原則で管理運営と利用者価値の向上を目指します

③ 三方（利用者・行政・指定管理者）良し精神での管理運営を進めます。

上記を最大化するための事業推進

① 利用しやすい施設に向けての環境整備とサービス提供
（来館者や文芸クラブ、お花の会など各種団体と連携）

② 元気の出るコミュニティ寄り合い所づくり

③ 地元組織との連携で歴史や生活文化の情報発信や企画展示による観光振興と特産品や周遊店舗などの新規ビジネス創出

(2) 指定管理者を希望する理由・目的を提示してください。

（株）まちづくり虎姫はあらゆる面で人々が住みやすいまちづくりを理念にあげ地域密着型の事業を推進しています。指定管理施設のＪＲ虎姫駅コミュニティ施設と隣接するテナント事業の一体化で地域特性の総合力を発揮する事により、より効率的な運用と活用が提供できます。併せて、地域振興と数少ない文芸の館、地域歴史の館として必要としている人の期待にもこたえるべく３年の実績をもとに継続して指定管理者を希望するものです。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（Ａ４版）を作成してください。

2　組織体制・職員配置等

(1) 管理運営の組織体制を提示してください。

・館長１名を中心に職員３名と臨時職員２名を配置し運営にあたる。

・役割分担　　館長・・・・全体管理運営統括、決裁、外部窓口、施設管理、危機管理対応、クレーム対応。

職員・・・・会計、来館窓口、自主事業企画立案。

臨時職員・・施設管理

・ローテーション体制で館事業、借館状況に応じ複数人勤務体制を実施。

管理体制

指定管理者　　全体責任

↓

館長　　運営管理統括

↓

職員　　業務推進

運営体制

館長

↓

職員

(2) 管理運営に係る職員配置を提示してください。

役職	担当業務内容	資格・能力等	雇用形態	勤務形態
(例)館長	・・・	甲種防火管理者	常勤	通常勤務 8：30-17：15
館長	全体管理総括	安全管理者 甲種防火管理者	常勤	通常勤務 8：30-17：15
職員 ３名	会計、企画、館管理	ＰＣ操作	常勤	通常勤務 8：30-17：15
臨時職員２名	館管理		アルバイト	通常勤務 8：30-17：15

別紙１：標準的な勤務ローテーションを示します。

(3) 人材育成の考え方や職員の研修計画等を提示してください。

・施設長会議、職員研修会（報連相会）への出席で視野、他施設の状況勉強

・地域情報、他施設等の事業、展示の情報共有・・１回／月（全体会議の中で）実施。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（Ａ４版）を作成してください。

3　利用促進等

(1) 施設の利用促進に向けた具体的な取組（施設の特色を活かした自主事業の展開を含む。）及び達成目標を提示してください。

５つの活用拡大施策

１：従来から活用して頂いている団体、組織のリピート。

・既存諸団体との連携強化。

・要望、改善点等ニーズの吸収と対応（改善アンケートなど）。

２：地域資産との連携と連動行事の推進。

・虎姫地域づくり協議会。

・元三大師。

・虎御前山保存顕彰会。

３：新規利用者の確保

・各種団体へのＰＲ（スポーツ少年団、老人会、女性会、自治会、一般財団法人など）。

４、各種団体等の研修場所としての施設として提供し利用率向上。

５、自主事業による利用者拡大。

【達成目標】

年度	利用者数	積算根拠
平成 31 年度	5,300 人	・平成２９年をベースに５％/年利用者数のアップの目標設定。 ・尚、使用料（利用料金）については現状を維持する。
平成 32 年度	5,600 人	
平成 33 年度	5,900 人	
平成 34 年度	6,200 人	
平成 35 年度	6,500 人	

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（Ａ４版）を作成してください。

(2) 地域・関係機関・ボランティア等との連携についての考え方や方策を提示してください。

1、地域・関係機関

地域に根差した関係団体が多くあり、歴史探訪、研修では「虎御前山古墳と中世城郭保全顕彰会」の保存会や田んぼアートを主催している「虎姫地域づくり協議会」等の団体と活動連携を密にし、時遊館が情報発信のコア拠点となる様に進めて行きたいと考えます。

2、ボランテイアとの事業連携

虎姫地域にも長年活動をしているボランティアグループがあり、そのグループに虎姫の歴史研修の場として参考にしてもらうことや、企画等の検討する場所としても活用してもらえる環境整備を進めたいと考えます。

又、将来的には虎御前山中腹の都市公園を活用した青少年野外活動場所と一体になった拠点づくりを進めます。

(3) 施設のＰＲや情報提供など広報活動についての効果的な取組を提示してください。

1、ホームページの積極活用の推進。

①定期的な更新と来館者の声、展示紹介等の掲載

2、見える化、知らせる化の活用で認識度アップを計る。

①ＪＲ虎姫駅の活用

②年間開催事業ポスター掲示

3、市役所記者クラブへの積極的な記事提供で認知度向上を図ります。

・開催行事前月の案内紹介記事

4、関係機関との連携事業ＰＲの実施。

・虎姫地域づくり協議会、（株）まちづくり虎姫、虎姫まちづくりセンターなどと定期的な連絡会を開催し課題共有する。　１回／３ケ月

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（Ａ４版）を作成してください。

4　サービス向上等

(1) 利用者等からのニーズの把握方法を提示してください。

1、利用者（貸館事業、自主事業）使用後のアンケートを実施（２回/年）

①利用者満足度

②展示及び館内案内の満足度

③職員応対態度

④要望等

2、社外メンバーと職員、（株）まちづくり虎姫役員による虎姫時遊館運営委員会を１回／６ケ月程度で開催し、課題、ニーズ、要望の掘り起こしと対応策を検討する。

① 社外メンバー

・元時遊館職員

・利用者代表（俳句の会、山野草の会、地元収集家）

・虎姫地域づくり協議会委員

・第３者的立場のメンバーとして（民生委員）

（１）利用者等からの苦情・要望等に対する対応について提示してください。

時遊館に「ご意見箱」を設置し利用客の声（意見、要望、苦情）を聞き、その対応には時遊館職員の仮称業務委員会でまとめ、結果を虎姫時遊館運営委員会に提出しご意見を頂き、運営に反映する。

（１）　その他サービスの質を維持・向上するための取組について提示してください。

来館されたときに気持ち良くお迎えする、過ごしていただくために。

1、職員からの挨拶と笑顔発信。

2、施設内の整理、整頓と清潔感。

3、季節感のある花提供

4、職員マナー勉強会（他の施設見学・・１回／年）

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（Ａ４版）を作成してください。

5　施設の管理運営等

(1) 施設の管理運営における経費節減のための取組について提示してください。

1、費用削減

・(株) まちづくり虎姫の構成員、役員でスキルをもっている人の協力を得て、自助努力でちょっとした修繕、修理などを行う。

・(株)まちづくり虎姫が受託している指定管理施設と共同購入によるスケールメリットをいかし、消耗品などの節約を図る。

・光熱費削減・・・昼間の消灯（来客不在時、外路等タイマー設定見直し）

2、ムダの排除

・利用者側から見た時にムダと思われないような使い方。（照明、水道）

(2) 利用料金の設定及び設定根拠について提示してください。

区分	単位	使用料	利用料金(案)
和室研修室	1時間	200円	0円
小研修室	1時間	100円	0円

備考
1　使用料は1時間単位とし、使用時間に1時間に満たない端数が生じる場合は切り上げるものとする。
2　第4条に規定する開館時間以外の使用の場合は、当該使用料の5割増しとする。
3　長浜市外に住所（団体又は法人にあってはその所在地）を有するものが使用する場合は、この表に定める使用料の倍額とする。
4　展示会場として3日以上連続して使用する場合の3日目以降の使用料は、その使用料の5割に相当する額とする。

（利用料金の設定根拠）

・使用料は長浜市生活文化交流施設条例で設定されておりその条例を遵守する

(3) 維持管理業務（清掃・保守点検・警備等）の内容、方法、頻度等について提示してください。

①維持管理業務

施設点検を絶えず行い異常を発見した時は速やかに修理をする。

（早期発見、早期修理を心がける。）

②防災

日頃から防災意識をもち、火災については火の用心に常に心がけ、職員の中で、避難経路確認や消火器、消火設備の位置確認並びに周辺の整理整頓を実施する。年2回の避難訓練を執り行う。事故発生時対応のマニュアルの掲示と研修をおこなう。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

6　その他

(1) 利用者の個人情報を保護するための取組を提示してください。

1、利用者の利用申請書（目的、氏名　連絡先、等の個人情報に係る資料）は紙ベースとして、カウンターに保管し施錠管理する。

(2) 施設の管理運営における環境に配慮した取組を提示してください。

1、施設廃棄物の３Ｒ推進

・リユース、リサイクル、リコース

2、施設周辺の除草

・環境対応除草剤の使用

3、省エネ

・不使用場所含めたこまめな消灯

・使用者に配慮した冷房、暖房温度設定

4、５Ｓの徹底

・５Ｓ（整理、整頓、清潔、清掃、躾）の徹底で、ムダのない、明るい職場づくり

(3) 防災、防犯その他緊急時（災害・事故等）の対応及び危機管理体制について提示してくださいい

危機管理

緊急連絡網・・・別紙２

危機発生時のマニュアルを作成、表示し、危機発生時の対応を訓練する。

緊急時連絡体制をしっかりと作り、表示するとともに研修をする。

(4) 同様・類似の業務の実績等があれば、記入してください。

ＪＲ虎姫駅コミュニティ施設の指定管理者（平成１８年より現在も受託）

7　自由提案

その他施設の管理運営業務を効果的・効率的に推進していくために提案したいこと、貴団体の独自性やアピールしたいことがあれば、記入してください。（例：女性・若者の参画、資材等の地元調達など）

１）指定管理を受託して２年間の成果と反省、課題

出来たこと。

①利用状況（Ｈ２５～２７とＨ２８，２９年の年間平均比較）

・利用件数、利用者数は目標達成

利用件数１５％アップ（１３２件→１５１件）

利用者数４０％アップ（３，５３３人→４，９３１人）

・利用料金は未達

但し、利用料金３９％アップ（４２，０００円→５８，３００円）

②事業（貸館及び自主事業）

・過去から継続してきている事業はリピートで活用。

俳句の会、山野草展、楽器練習など

・新規事業

兜展示と教室、地元の収集家掘り下げ（四季農耕図、掛け軸など）

エコ鉢づくり体験と作品展示、スポ少活用、自治会活用など

③館整備（自前推進もしながら）

・館内外の整理・清掃、花壇造成、植木伐採、竹囲い修復、畳の表替えなど

出来なかったこと

①地域と連携した特産品創出

・竹細工、五目飯などをまち会社と一緒になり特産品づくりを模索するも実施に至っていない。

・ＪＲ虎姫駅を起点とした賑わい創出などの参画などが未達。

２）課題

虎姫時遊館は俳句等の文芸と地元歴史展示を主に開設されました、２０年にわたる経過の中で来館される人や年齢構成も変化し事業や展示のリニューアール時期が来ていると考えます。

時遊館の特徴を活かしつつ役割、存在意義を高めるため次の５年間の指定管理の中で更なる活動の広がりを進める必要がある。

（3）総括

①指定管理者として３年間の管理運営実績と将来性

虎姫時遊館施設の指定管理者として３年が経過した、大きなトラブルも無く今日まで管理運営が出来た。来館される利用者の使い勝手、利用したい思ってもらえる環境整備を進め、従来のリピート使用者の方はもちろん新規利用者の拡大に知恵を絞って運営してきました。その結果利用者数や貸館件数も増加し、利用者の声も直営時に比べ、良くなったとの評価を頂いております。その事は担当している職員一同も実感し自負しております。ただ　利用者の方の固定化や高齢化に伴う施設運営の活性化は先に述べた課題と同様に避けて通れない課題と認識しており、まちづくり会社と一体になった企画検討や運営が更に必要になってくると考えます。

②虎姫時遊館施設を起点とした広域地域連携・賑わい化

当施設の特色である文芸・歴史の館である虎姫時遊館を起点とし同じ指定管理施設であるＪＲ虎姫駅コミュニティ施設（駅／テナント・福祉施設）をや歴史の山（虎御前山地域）～おみくじ寺院（玉泉寺）をつなぐ街道イメージの面展開でぐるっと史跡めぐりができ各場所で地元野菜を中心に屋台で食事が出来るような活動や、となり駅である田村駅は小谷城城址を観光の目玉として取り組んでおられ、そことコラボをして１＋１が３になる様なトータルとして効果のでる企画推進。

また、平成３１年度からは虎姫地区に小中一貫校が開設されますので、その事に合わせたイベント（例えばこども俳句の拡大）や地元収集家の掘り下げ拡大（趣味、骨董等）を通じ地域活性化と、賑わい化に貢献していく。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（Ａ４版）を作成してください。